



しあわせおっぱい通信



岐阜県総合医療センター 4階東病棟(Vol.42) 2021年 秋号

今回のテーマは、コロナ禍における母乳育児です。

コロナ陽性になった場合、母乳育児はどのように行っているのでしょうか？

コロナ陽性の場合、母乳をあげても大丈夫なの？

WHO

コロナ感染が疑われるまたは確認された母親には、
母乳育児を開始する、または継続することを推奨しています。

日本小児科学会

母がコロナに感染している場合は、接触や咳を介して子どもに感染させるリスクがありますが、感染性のあるウイルスが母乳に影響されるかどうか不明であり、母乳の利点を考えれば母乳をやめておいた方がよいということはありません、と説明しています。

日本新生児成育医学会

コロナ感染した母の母乳には特異的な免疫物質が含まれるなどの母乳栄養による感染への有利な効果も期待されることもあり、母乳栄養のその他様々な利点を考えると、母乳栄養を一律に中止すべきというわけではありません。

日本母乳の会

搾乳を推奨しています。これまで、母乳と感染防御に関しては、母親が何らかの病原体に感染した場合には、抗体が産生され、母乳中へ分泌されることや母乳中は感染防御に有効な生理活性物質が含まれていることが知らされています。

産婦人科学会

母乳を介して新型コロナウイルスが乳児に感染するリスクは低いと考えられています。しかし、母乳中に検出されたという報告もあります。また、授乳時には、接触・飛沫感染のリスクがあります。これらのリスクについてご家族や医療機関の医師等と十分に相談の上、授乳方法や時期をお考え下さい。

コロナ感染による母乳育児については研究途中であり、いろいろな意見があります。
現時点では複数の機関がコロナ陽性であっても母乳育児を推奨しています

当院では、感染期間に母乳育児を行うかは、お母さんの意向を大切にしたいと考えています。

困ったことがあれば気軽にスタッフに相談してくださいね♪

